

2018年度 P.G.T. スタート!

昨年は1年間 P.G.T. の役員をし、こんなにも会員の皆様が気持ち良くボランティアを引き受けてくださり、また楽しく活動する姿を見て、改めて驚かされました。緑が浜小の長年に渡る、このアットホームな雰囲気がかような温かいスタイルを作ってきたのでしょうか。やらねばならない活動というのは、どうしたって楽しくありません。しかし、自分から進んでやってみようと思った事は、実のあるものに繋がっていくと思います。ひよんなきっかけで、自分の目の前に転がって来たでき事、話を前向きに捉える事ができれば、必ずいい方向へ流れ進んで行く、と私は考えます。



実際4月からは会長という大役を引き受け、今日までたくさんの方々に助けられ支えて頂き、人との繋がりが増えました。感謝しています。縁あって緑が浜小学校に関わってくださる皆さんが、新しい人々と出会い、新しいでき事に会い、さらには新しい自分の発見ができたと思います。



P.G.T. 会長
山川麻紀子

一緒に楽しく過ごして行きましょう。どうぞよろしくお願いいたします。



P.G.T. 副会長
諸野義之

緑が浜小学校の地形的な特徴は、湘南に位置するということでしょう。そしてこの湘南のイメージは、”明るさ”だと思います。

休み明けの月曜日の朝、元気な声で、明るく「おはようございます」とお互いに顔を合わせたら声を掛け合うことで、学校生活の1週間が始まります。この明るさが続いて、素晴らしい学校生活となります。この一助になろうと思い、私たちの見守り隊、隊員18名の月曜日の朝の活動が続いています。ですから児童たちの明るい笑顔と、大きな挨拶の音がなによりも嬉しい事なのです。

こんな事も有りました。卒業していく1人の6年生が、つかつかと寄って来て「長い間有難うございました」と言ってくれたのです。又、今年卒業する6年生の有志達は、手作りの見守り隊の腕章をお別れにプレゼントしてくれました。こんなに嬉しい事は有りません。だから現在、孫が既に緑小を卒業してしまっている祖父母が、11人も本活動に引き続いて参加してくれているのです。黄色い帽子のキョロキョロと落ち着かない1年生が、6年後には私たちの活動を認知してくれているという思いを抱かせてもらえる、こんなに有難い事は有りません。こうして私たちの活動は続いていきます。

皆様のご協力をよろしくお願い致します。



子どもたちの安全をどう守る?



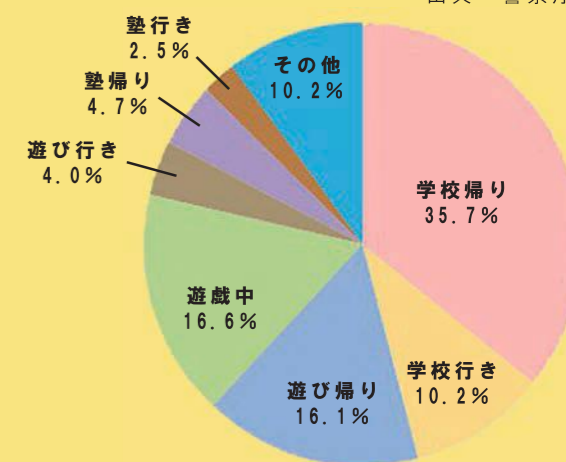
地域でつくる、登下校の安全

不審者対策編

子どもが何をしていたときに
声かけ事案に遭ったか

出典：警察庁

近頃、子どもが登下校時に悲しい事件に巻き込まれたというニュースが増えたように思います。そして、身の回りの不審者情報も……。声かけ事案が発生した時間帯は、登下校時間中が全体の約45%を占めるというデータもあります。楽しい学校生活に水を差すような、不安な気持ちを子どもにもたせるのも気が進みませんが、どうやって登下校時の子どもの安全を考えていけば良いのでしょうか。



茅ヶ崎警察署・生活安全課に、お話を伺ってきました。

編集後記

今年度は、広報チームのメンバーがぐっと増えて11人でスタートしました！頼もしいメンバーと共に、今年もさまざまな記事を盛り込んでいく予定です。さて今回の防犯&通学路特集、いかがでしたでしょうか。この記事を書いている最中に、大阪北部で震度6弱の地震があり、小学4年生の女子児童がブロック塀の下敷きになり亡くなるという痛ましい事故がありました。緑小の通学路にも危なそうな塀が何カ所かあります。今一度、親子で通学途中の塀の点検や、大きく揺れた時は、塀からすぐに離れることなどご家庭で話題にしてみてください。こちらのサイトでは、どんなブロックが危ないのかが分かりやすく掲載されています。ぜひチェックしてみてくださいね。 <http://www.jcba-jp.com/daijiten/c03/03.html>

広報ボラ
過去最高！
総勢11名！





茅ヶ崎でも、不審者案件は増えています。これは案件が増えているだけではなく、みなさんの意識が敏感になっているため、通報が増えていると思われます。でも、そうして気を付けていくことが大切だと思っています。

～連れ去り犯の声かけ手口を合言葉で覚えよう！～

ち い た あ

- ち** よつといいかな？
ちよつとだけなら…と思ってついて行ってはだめ！
- い** そいで！早く来て！
慌てさせるのがふしんしゃの手口だよ。
- た** すけてほしいんだ！
本当にこまった人は、子どもに頼まないよ！
- あ** けたいものがあるんだけど
「買ってあげる」「送ってあげる」などの言葉にも注意しよう！



**防犯ブザーは、
登下校中は必ず、
一人で外出する際にも
使ってください！**

防犯ブザーが鳴り続けると通報が入ることもあります。また、道に落ちていても、何かあったのでは？と、拾った人から連絡が入るそうです。



ひとりにならないようにしよう！

ひとりの時に声をかけられたら…

- ・片手の長さ以上の距離をあけよう。
- ・車に乗った人から話しかけられたら、大人が両手を広げたくらい車から離れよう。車から逃げるときは、車のお尻の方向に走ろう。車が方向を変えるまで時間がかかるよ。
- ・身の危険を感じたら、おなかから低く太い声を出して、コンビニなど大人がいるところへ逃げよう。

それでも、もし何かあったときに、子どもに「次は気を付けようね！」と伝えると、子どもは『自分が悪いことをしたから怖いことがあったんだ』と考えてまた傷ついてしまいます。「怖かったね」「あなたは悪くない」「話してくれてありがとう」と、子どもの気持ちに寄り添う言葉が、子どもを守ることにつながるそうです。

(※参考：「みんなの防犯ブック」(公財)全国防犯協会連合会、GAPかながわ)



目撃情報は早く伝えてください！

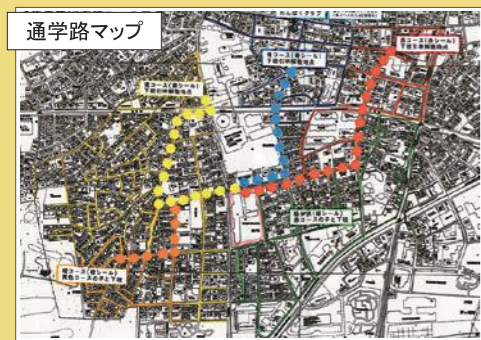
不審者とはグレーゾーン（※グレーゾーンとは、事件性があると断定できないこと）。はっきりしなくても、変だなと思ったら伝えてください。確認協力も早いタイミングが必要です。通報先は学校か警察か、どちらにするか迷ったら、警察に連絡してください。

怖い思いをしているお子さんは、当日話せないことも多いのだそうです。普段から、“いつもと違うことがあったら大人に話す”ことを確認しておきましょう！

警察からの注意を本人と家族に知ってもらうことも、事件になる可能性を抑止することにつながります。

～事例～

通報内容：下校途中で『飴をあげる』と渡された。それ以上はなかったが怖かった。
調査結果：茅ヶ崎では該当者は、まだ見つかっていません。ただ、本人は善意で配っている場合があるので、該当者が見つければ警察から、本人、家族に話して注意することができます。



通学路に、周りの見えにくい場所、人の少ない場所はあるかな？また、通学路を外れると、交通量が多い箇所もあります。通学路を守り、その中でも安全を確保できるよう、注意するポイントをご家庭でも話し合ってみましょう。

“不審者”とは、グレーゾーンである、ということ。親切な気持ちで声をかけてくれる方もいます。子どもたちには、地域の中で安心して育てほしい。しかし、万が一に備えて、子どもの行動のグレーゾーンを作らないこと、声かけ事案を想定してみるなど、防犯練習を明るく元気にやってみることで、気になることを伝えることが大切だと思いました。子どもの安全を願う、大人の目がキラリと光る緑小学区にしていきましょう！

**わたしたちは ぼくたちは
学年も家もちがうが きょうだいだ♪**



2018年4月。新年度が始まりました。まささらランドセルを背負った1年生が、やや緊張気味に登校してきました。慣れない様子で、自分の下駄箱に靴をしまい、上履きに履き替えた後、近くで待っていた6年生のお兄さん、お姉さんが優しく教室まで案内してくれていました。

1年生が本当にかわいい！
6年 Aくん



緑が浜小学校では、毎年1年生のお世話を6年生が行います。そのお世話はなかなか忙しそうでも、大変な様子でしたが、みんな本当に優しく、笑顔で、とても親切にお世話をしていました。

お世話は結構大変だけど楽しい！
6年 Bさん

朝は、昇降口から教室への案内。休み時間は一緒に遊んであげたり、給食の後には、片づけのやり方を教えてあげたりしていました。さらに1年生の教室のお掃除は、6年生が週替わりの当番制でやってくれていました。



そして、ゴールデンウィークが明けた朝の会。1年生の教室に6年生がやってきて伴奏付きで校歌のレッスン。とても丁寧に少しずつ、教えてあげていました。

緑小の校歌の歌詞にもあるとおり、
♪ わたしたちは ぼくたちは 学年も家もちがうが きょうだいだ♪
まさにそんな雰囲気、新年度がスタートしました。



自分の妹みたいに思える！
6年 Cさん

自分でやる！って言うてる子もいて、それもまたかわいい。
6年 Dくん

みてきて そうなんだ!

ヒロシマの被ばくピアノと被爆体験伝承話

今年度の広報では、シリーズで平和を考える記事をご紹介します。

1回目は、昨年度3月15日に行われた、被ばくピアノ鑑賞会。

そして今年度4月に6年生対象に行われた、平和学習についてレポートします。

みさこの被ばくピアノ

被ばくピアノをご存知でしょうか?

広島、長崎のピカ(原爆)に遭い、被ばくしたピアノを修復している矢川ピアノ工房が広島にあります。その矢川ピアノ工房さんが所有する被ばくピアノが、今年の3月15日に緑が浜小学校にやってきました。この日持ってきたピアノは、6台あるうちの1つ。「みさこの被ばくピアノ」と呼ばれてるものでした。まず始めに、調律師の矢川光則さんが、子どもたちにも分かりやすいようにクイズ形式で話が進みました。

ヒロシマから来ました



みんなわかるかな?



はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

はい!

ピアノを調律していたら、中から何が出てきたと思う? ①ガラスの破片 ②楽譜 ③お金

答えは「①ガラスの破片」。爆風でたくさんのガラスが飛び散り、ピアノの中に入ってしまったのです。

戦後最初に原爆を作ろうとした場所はどこでしょう? ①広島 ②徳島 ③福島

答えは「①広島」。でもその当時の被ばく者たちが反対して、計画は白紙になったそうです。

原子爆弾と一緒に落とされたものがある。それは何? ①模擬爆弾 ②落下傘 ③チョコやアメ

子どもたちは、「チョコやアメー!」と嬉しそうに手をあげていましたが、答えは「②落下傘」。落下傘に計器をつけて落とし、そのデータはすぐにアメリカに知らされたそう。原爆が実験に使われたことがこのことから分かります。

このピアノ、当時いくらで買ったでしょう? ①630円 ②6万3千円 ③630万円

答えは「①630円」。この金額は、当時小さい家が一軒建つぐらいだったそうです。

昨年12月、ノルウェーのオスロで行われたノーベル平和賞に被ばくピアノが招かれたが、このピアノは持って行けなくて他のピアノが海を渡った。海外に運ぶ時、ピアノの何をクリアしなくちゃいけないと思う?

①ピアノ線 ②鍵盤 ③外側の塗装

答えは「②鍵盤」。セルロイド製はOKだけど、象牙は現在ワシントン条約で禁止されてるから、象牙の鍵盤は海外へ持ち出せないのです。

どのクイズも興味深く、へー! ほー! そうだったのか!とつぶやいてしまいました。

そして、被ばくピアノの演奏は、給食場の調理師さんである北郷彩子さん。

たくさん素敵な曲を弾いてくださったのですが、最後の「地球星歌」という曲が始まると、

自然と当時の4年生(現5年生)から美しい歌声が…。

被ばくピアノの音色と子どもたちの歌声が見事なハーモニーとなって、涙腺崩壊でした。

子どもたちのハーモニー!



終了後、子どもたちは被ばくピアノにも触れさせてもらい、貴重な体験となったと思います。

被ばくピアノは言葉を話さないけれど、その音色で「戦争は二度と繰り返してはいけない」ということを私たちに伝えてくれていました。

原爆は人間の存在を否定するもの

(証言者・細川浩史さん)

～ 伝承者・山川京子さん～

4月23日に6年生対象の平和学習がありました。

広島から山川京子さんが被爆体験を伝承しに来校され、73年前に広島市内で被爆した細川浩史さん(89歳)のお話と、ご自身の両親が被爆したお話をしてくださいました。

1945年8月6日午前8時15分。広島市上空600mのところで原子爆弾が爆発しました。爆心地の表面温度は3000度～4000度。人々は皮膚が溶けてしまうほどの火傷(ケロイド)を負い、川には熱線で焼かれた人が水を求めて飛び込み、海に流されて行きました。広島市内の約35万人のうち、約14万人がその年の終わりまでに亡くなりました。当時、細川さんは爆心地から1.3kmの所で被爆。柱の影にいたので命は助かりました。戦時中、空襲で建物が焼けて火事が広がるのを防ぐため、中学生が学徒動員として建物を壊す作業をさせられていましたが、作業していた228名全員が亡くなりました。細川さんの妹さんも、この作業中に被爆し亡くなりました。

「水…水…水を飲ませてください」と言いながら、子どもたちは死んでいったそうです。放射線は皮膚を貫き、細胞に至り、短期的・長期的に体を壊していきます。生き残った被爆者たちが、周りの偏見によって「放射能がうつる」と差別やいじめを受けることもありました。福島で原発事故があり、そこから逃げた小学生がいじめを受けることと同じです。被爆した人から放射能はうつりません。

夢も未来も断ち切ってしまうのが戦争です。

細川さんは、「原爆は人間の存在を否定するもの。広島だけの問題ではなく、世界全体の問題。語り継いで平和について考えて欲しい」と願っています。

山川さんも、「世界では核兵器が1万5千発もある。それが1発でも使われたらどうなるでしょうか。1人ひとりが大切な命。相手の命、私の命を大切にしていきましょう。

広島で見て聴いて感じたことを通して、平和について考えたい」と願いを語りました。

お話の後、子どもたちからの質問タイムがあり、

たくさんの質問が出ました。その中から抜粋して2つをご紹介します。

Q 広島市内にあった軍事基地は、今どうなってますか?

A 今は地下壕になっています。当時そこから指令を出していた岡さん(昨年亡くなりました)が、「もう少し早く情報を受け取ってれば、生き延びられたのでは」と語っていました。

Q 原爆が落とされた後、食料はどうしていたのですか?

A 何もありませんでした。ペンペン草でさえ消え、ヘビや蛙もいなくなりました。田舎からヤミ米を手に入れたり、よそから盗んだり、ヤクザの力を借りることもありました。

最後に6年生を代表してT.Yくんが挨拶をしました。

「平和のためにできることは、思いやりと優しさをもつことです。これがもてないと、戦争になってしまうからです。」

大人も子どもも、過去の戦争を知り、平和について考える時間となりました。これからもずっと考え、問い続けていきたい問題ですね。被ばくピアノの矢川さん、伝承話の山川さん、貴重な機会をありがとうございました。

皆さんに知ってほしい



そうなんだ!

びっくり…

つムツム



心げていること

人も深く傷める命でありたい

広島で、見て、聞いて、感じたいことを通して、平和について考えたい

「広島であったこと」も「自分の街だったら」と思う



質問です!



とても勉強になります



思いきり遊んできました!

5月23日の天気予報はあいにく曇りのち雨でしたが、予定通り「フィールドアスレチック横浜つくし野」へバスで行って来ました。自ら身体と手を動かし遊ぶ場所への遠足。ワクワクしていたに違いありません!



J.Kくん

フィールドアスレチックは50近いポイントがあり、かなりハードなイメージですが、子どもたちの様子はどんな感じでしたか?
お天気がよければ、セカンドステージまでが目標でしたが天気予報、雲行きから早めの昼食になりました。かなりハードなアスレチックにも関わらず、わたしたちの助けはほぼ借りず、自分たちが出来る出来ないを判断しながら楽しんでいました。また助け合い、協力しながら遊ぶ姿も見ることが出来ました。

- どんな遊具が人気でしたか?
アップダウンのはげしい滑り台やターザンロープが人気でした。男子は攻めで、女子は慎重な子が多かったです。
- 2年生に比べて集団行動にまともは出てきましたか?
校外を意識し、また適度な緊張感もあり、学校なら5回6回言わないと聞かない事も、1回で聞き落ちついて行動していました。また遊具に書かれている約束事や注意事項も声かけしたりして遊ぶ姿には感心しました。
- お弁当はどんな状況で食べていましたか?
当初はセカンドステージ内で昼食の予定でしたが、ファーストステージ内の休憩テントで11時くらいから食べ始めました。テーブルといすがあるにも関わらず敷物を敷きたいようで、せまいイスとイスの間に敷いたりして食べていました。

フリーホール(90度の滑り台)がめっちゃ楽しくて、何回もやった! またやりたい!

S.Oさん

雨に濡れたけどみんなで食べたお弁当がたのしかった。

H.Fさん

雨でやれなかった遊びがたくさんあったからまた行きたい!

ひらがなのプリントが、毎日1枚ずつ出ています。

プリントに加え、音読も始まりました。

1年生

内容 ひらがなプリント、音読

目的

- 1 ひらがなの定着。
- 2 ひらがなを読んだり書いたりできるようにする。
- 3 文字とその音がわかるようにする。
- 4 文字をまとまりとして、言葉を意識できるようにする。
- 5 学校の学習を補うため。

2年生

内容 国語は漢字、カタカナ、言葉(は・を・へ)や撥音促音など)算数は計算、文章問題

目的

- 1 2年生の授業で学習してきたことの復習を行い、定着させる。
- 2 1年生からこれまで学習してきたことの復習をし、生活やこれからの学習に生かせるようにする。
- 3 音読することで、文章の内容を捉えられるようにする。
- 4 さまざまな文章の書きぶりの違いに気が付く。

宿題にもはつきりと目的があるんですね!
ご家庭でお子さんの宿題を見る際の参考にしてみてくださいね。



どうして宿題をするの? これからの宿題はどうなる?!

1年生が入学して早3ヶ月が過ぎました。学校の宿題にはもう慣れましたか? 「他の学年はどんな宿題をしているの?」「どんな宿題が難しくなるってホント?」
1年生の保護者の方からこんな疑問が寄せられました。学年が上がるとどんな宿題を出されるのか、1年生の保護者でなくても気になる方もあるのではないのでしょうか。そんな疑問にお答えして、広報では子どもたちの宿題について取り上げて行きます。第1回目は低学年編です。どんな宿題をどのような目的で出しているのか、1 & 2年生の先生方にお話を伺い、まとめてみました。

子どもたちのお仕事 拝見

給食委員会

給食が終わると1階給食室入口の配膳室に、各クラスの給食当番が食器や食缶類・牛乳パックを片付けに来るので、その手伝いをします。委員の子は給食を早めに食べ終わり配膳室にスタンバイ。次々に運ばれてくるものを受け取り指定の場所に置いていきます。数も多く力仕事で大変ですが、優しく声をかけきびきび動く姿が印象的でした。

牛乳パック、もう入らないよ

はい、こっちはよ

意外と重いんだよ

図書委員会

20分休みやお昼休みに図書室で、本の貸し出しなどカウンターの仕事や図書カードが1枚終わると渡す景品のしおり作り、掃除をします。また、委員それぞれがおすすめの本を選び、紹介カードを作ります。色々な本を読んで選ぶだけあって、委員が選んだおススメの本はよく借りられています!と先生も嬉しそうに話していました。

好きな本必ず見つかるよ!

ハンコ押し楽しい~

放送委員会

朝と掃除の時間に曲を流します。お昼は給食をもって放送室に集合。12時40~45分の5分間、クイズなどみんなが興味を持つような話題と曲を放送します。お昼の放送は、原稿作りや先生のチェックなど大変なこともあります。委員の子たちは曲を選んだりとにかく楽しくて仕方ないといった感じでした。また、テレビ機材を使っの緑小祭りのCM放送や、運動会のアナウンスもするので注目してみてください。

曲はTalking To The Moon!

高学年になると委員会活動が始まります。委員会は全部で8つあり、5・6年生全員が何らかの委員会に所属し、学校生活がよりスムーズに楽しくなるよう様々な場所で仕事をしています。今回は、4人1組1週間交代でほぼ毎日仕事がある3つの委員会を紹介し、他の委員会は、今後の広報で順に紹介するので楽しみに。

先生! 質問です!

「あ、いいこと考えた」を大事にしたい

緑小の図工がめざすもの



「みんなと同じでなくていい。」「ご自身が小学校時代の先生に言われて、とても嬉しかった言葉だそうです。小学校における図工の本質とは何か? どうしたら子どもたちの為になる授業ができるのか?」
次号では、子どもたちが作品を作る過程を取材する予定です。どうぞお楽しみに!

保護者に伝えたいことはなんですか?
本校の学校教育目標は「よく遊び、じっくり学び、正しく遊ぶ子」です。よく遊ぶことは創造性・想像性を育み「自分でつくりだしていく力」「考える遊び力」につながります。図工の遊びの要素はこの力を伸ばしてあげたいと考えています。子どもたちの「あ、いいこと考えた」を大事にしたいと考えています。

作品を見たときに「うまい」「へた」で判断しないでほしいのです。図工はうまくついたり、描いたりする教科ではありません。結果だけを見るのではなく、途中の段階がとても重要なことです。最終的に作品に残らなくても、子どもたちの中に残っています。ぜひ、「工夫したね。」「こはこうなっているの。」などと聞いてみてください。

子どもたちはきつ、色々と話してくれそうです。作品は子ども自身です。作品を否定されると、自分が否定されているかと思ってしまう。

昨年度に引き続き緑小の授業研究が「図工」ということで、広報では各学年で取り組んでいる図工についてシリーズでお伝えすることになりました。そこで長年、中学校で美術に携わってこられ、図工に熱い思いをもっている先生に話を伺いました。小野教頭先生にお話を伺いました。